

Forest通信 令和5年 11

No.417

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター

巻頭
Photo

高尾山のいきものたち

ヒメアカタテハ (タテハチョウ科)



オレンジ色が鮮やかな蝶。翅を広げて4~5cm位で、表面は橙色が広がり、翅の先端は黒く白色の斑点が点在する。裏側はほぼ灰褐色で細かい網目模様がある。春から晩秋まで、公園や河川、山地の草原や林など、様々な場所で見かけ、よく花にとまって吸蜜している。

成虫は、5月頃から年に3~4回発生し、早春には越冬個体が見られる。移動性が強く、蝶類としては珍しく広く世界に分布している。幼虫の食草は、ハハコグサやヨモギ、ゴボウなど種類が多い。幼虫は食草の葉を袋状に綴り合わせた巣を作り、その中で生活する。この蝶は、多様な植物を食べ、年何回も成虫を発生でき、遠くに移動できるから、いろんな場所に姿を現わしてくれるようだ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)

驚き桃の木 高尾の記

NO.14



「いろいろ観察できる！」

この時期の森林教室では、動くことができない植物が種子をどのようにして遠くに運んでもらうか、そのためにどのような仕組みを持っているかということをお話します。限られた日程の中で、森林観察のコースも普通に歩けば20分ぐらいで歩ける距離で設定せざるを得ませんが、その短いコースにも実に様々な種子散布様式の植物に出会えるので驚きです！

歩き始めにまず出てくるのは、ひつつきむし。眼鏡型のヌスピトハギ、フジカンソウ、取るのに厄介なイノコツチ、胸につければブローチになるノブキが定番です。児童たちは、きゃっきゃ言いながらお互いにひつつけあっています。続いてバッチン方式のツリフネソウ。膨らんだ実を我先にと探しまわるので「次の学校のために取っておいてね」と。ミヤマフユイチゴやアオキの赤い実があれば「赤くておいしそうなのは何か意味があるんだけど。。。」と尋ねます。アラカシのドングリがあれば「どんぐりころころ」もあるけど「リスがねえ。。」。キジョラン、テイカカズラは風に乗ってふわふわ、カエデはくるくる。ウバユリもコース脇にあり、割れた実はじっくり観察してもらいます。そのあと強い風を再現、歓声が沸き起こる瞬間です。

それにしても、なぜ種によってこうも違う散布様式を持つことになったのでしょうか？生育環境に合わせた散布様式になったのか、それとも散布様式の違いが生育環境を選んでいるのか？ニワトリと卵？どなたか教えていただけませんか。(枝)



ウバユリの実の中にはどんな種が入っているのかな？

職場体験

東京都立 八王子拓真高等学校

9月26日(火)～28日(木)の3日間、都立八王子拓真高等学校2年生の生徒3名を対象に職場体験(インターンシップ)を行いました。

一日目はさっそくハードな間伐作業。鋸の扱いが上手な生徒、やや苦戦する生徒とまちまち。伐倒、玉切り後、林道まで担ぎ出してもらいましたが「思った以上に大変な作業で、倒す方向もよく考えないといけないということがわかった」「斜面が急でかなりきつかったが良い経験となった」などの感想が。

二日目はセンサーカメラのSDカード交換をした後、遊歩道点検、森林観察、森林清掃をしながら山頂まで。途中、人工林と天然林の特徴や管理の方法、国有林の巡視、境界管理などの森林官の仕事について説明するとともに、自然の中で働くことの楽しさ、面白さについても経験を踏まえて話しました。

最終日は炭焼き体験施設で竹炭の材料作り。あらかじめ職員が切り出しておいた孟宗竹を80cmの長さに切り、一本一本竹割器で割る作業です。結構難しい作業ですが、さすが高校生。終わってみればかなりの量の材料ができあがり、職員もとても助かりました。「疲れたけど良いトレーニングになった」とはボクシング部の生徒さん。最後にセンサーカメラに写ったツキノワグマ、シカ、イノシシなど様々な動物をパソコンで見て驚嘆し、3日間のインターンシップを終えました。

森林・林業関係の仕事も就職先の選択肢の一つに加えてもらえたら嬉しい限りです。(枝)



森林教室

東京都立 石神井特別支援学校

9月28日(木)、東京都立石神井特別支援学校の生徒19名と支援の先生方総勢32名が今年も高尾山に森林散策にやってきました。当日は、体力に合わせ3班に分かれ、それぞれのペースで高尾山を歩きながら林内を散策しました。

1班健脚班は、ケーブルカー高尾山駅～男坂～薬王院～林野庁慰霊碑前広場の予定で出発しました。さすが健脚班だけあって、薬王院はトイレ付近までの予定でしたが、全員本殿まで元気に登り切りました。

2班は、高尾山駅～(余力があったら女坂)～林野庁慰霊碑前広場の予定で出発しましたが、一人の生徒が男坂の階段登りに挑戦したら全員が男坂に挑戦し、最後まで登り切ってまた階段を下りてきました。

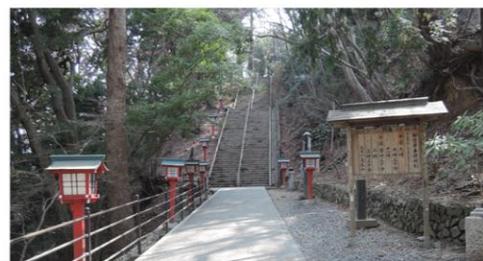
3班は高尾山駅～タコ杉の予定でゆっくりと森林散策を楽しみました。

お昼は、1、2班は林野庁慰霊碑前広場で合流して、3班はサル園前でお弁当を食べて帰路につきました。

予定より少し遅れての出発でしたが、清々しい秋晴れの中それぞれ自分にあったペースで高尾の森を散策し、予定になかった急な階段に挑戦するなど元気いっぱい楽しい1日となりました。(瀬)



薬王院



男坂



タコ杉

職場体験

八王子市立 石川中学校

10月3日(火)～5日(木)の3日間、八王子市立石川中学校2年生の生徒3名が当センターで職場体験をしました。

初日は森林教室の日でセンターに早朝8時集合でしたが、生徒の皆さんは15分くらい前には出勤し、とても気合が入っていた様子でした。この日は宿泊体験施設の体育館での丸太切り。初体験にもかかわらず、小学5年生の児童に積極的に声掛けしながら接している姿は頼もしい限りでした。その後、竹炭の材料となる竹を切って割る作業も体験してもらいました。

二日目はヒノキの間伐体験。運動部に所属している生徒も山の斜面を歩くことには慣れていないようで、しばしば尻もちをついてジャージのお尻の部分が真っ黒に。それでも「受け口がうまく作れて木が倒れた時はうれしかった」「森林の手入れ作業は楽しかったけれどとても難しいということもわかった」などの感想を聞かせてくれました。

最終日は遊歩道点検、森林観察、森林清掃の体験です。山頂へ続く遊歩道の途中にショートカットした踏み道があり、登山者がそこを通らないようロープと標識を設置しました。3日間の短い期間でしたが、森林や林業に関わる色々な仕事を体験していただけたと思います。今回体験したこと、感じたことなどを何かの折に思い出して周りの人にも話してもらえたら嬉しいですね！(枝)



森林教室

八王子市立 秋葉台小学校

10月3日(火)に八王子市立秋葉台小学校5年生128名の森林教室を行いました。秋葉台小学校では、昨年「高尾の森わくわくビレッジ」を利用し、1泊2日の「高尾移動教室」を実施しています。昨年に続き今回が2回目の森林教室開催です。

当日は、午前中に全体を2グループに分け森林学習と丸太切りを交互に実施しました。限られた短時間での実施となったため、丸太切りは6班に分け一人2枚を目標に、当日職場体験で当センターを訪れた八王子市立石川中の2年生3名とフォレストサポート5名にも手伝っていただき、全員が2枚の輪切りをゲットして嬉しそうにリュックにしまっていました。

森林学習は時間が足りなかったようで、担当した職員は、十分な説明ができなかったうえに質問の時間も取れなかったと残念がっていました。

短時間での実施であわただしい森林教室となりましたが、児童のテキパキとした行動でスケジュールどおりに進行し、閉校式では、児童代表から、感謝の言葉とともに「来年もよろしくお願いします」との挨拶で終了となりました。来年は、もう少し時間に余裕があるとありがたいです。こちらこそ、来年もよろしくお願ひします。(谷)



10月10日（火）、町田市立成瀬中央小学校5年生58名の森林教室を、高尾山日影沢キャンプ場と周辺の国有林で実施しました。

午前中は森林観察です。林業のことや人工林と天然林の違い、針葉樹と広葉樹の生長の仕方の違いなどについて学んだり、水が滴り落ちる林内で、緑のダムとしての森林の機能についての説明に聞き入っていました。また、小川では沢蟹探しに夢中になり、大きな親ガニや小さな子ガニを見つけては歓声を上げていました。

午後は、森林学習と丸太切りを2グループに分かれて交互に実施しました。森林学習は、管理棟の中で森林の役割や林業についてのお話し。丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながら、最初はどうも切れない子もいましたが、だんだん上手に切れるようになり、輪切りの匂いを嗅いだりして皆楽しく丸太切りを体験していました。

桜の葉は早々と散り、森の木々もだんだんと色づくなど秋の訪れを感じられる森林教室となりました。
（瀬）



公募イベント 森林カレッジ（秋）

10月14日（土）に森林カレッジ秋が開催されました。講師は元多摩森林科学園園長の三輪雄四郎先生です。講義は「木の成長としくみ」についてです。

参加者の中には木材に関する職業の方もいらっしゃるが、今回の講義では「樹木の成長のメカニズム」や「樹木と草・竹の違い」「木のしくみ（細胞や組織の成り立ち）」という一歩踏み込んだ内容となっており、「今まで理解していたかと思っていたが、勘違いしていた」「今回の講義により理解が一層深まった」など、たくさんの感想をいただきました。例年開催しているとはいえ、「森林カレッジ」の存在意義を改めて感じさせられた一日となりました。（磯）



森林教室

横浜市立 美しが丘小学校

横浜市立美しが丘小学校の4年生82名に森林教室を実施しました。午前は6グループに分かれて1時間45分の森林散策、午後は2グループに分かれて40分ずつ森林学習（座学）と丸太切りを交代で行いました。

当日は日影沢キャンプ場へ到着する時間が遅れてしまったため、森林学習と丸太切りの時間を10分ずつ減らしての実施となりました。

水筒がペットボトルだったため、全員水筒を入れたリュックを背負っての森林観察になってしまいました。とても大変だったと思いますが、みんな最後まで元気いっぱい歩き切りました。季節は秋に入り、たくさんの種や実を観察することができました。

途中「クガビル」というミミズを食べる生き物に出会ったときは、悲鳴と歓喜の叫びが渦巻く状況になりました。平気な子は血を吸わないと知ると手の上に乗せたり撫でたり森の生き物とふれあっていました。お弁当を食べて、午後は森林学習、丸太切り体験を実施しました。

森林学習ではスライドを使い森林官の仕事の紹介・高尾山の動物たち・木材の生産など、さまざまなテーマに分けての森林の講義を実施しました。

丸太切り体験はFSS（フォレスト サポート スタッフ）の方々が丁寧に教えてくれます。切った輪切りは皮を剥いてお土産にします。厚みが様々な輪切りを手に満面の笑みでした。（岩）



森林教室

横浜市立 羽沢小学校

10月24日（火）、横浜市立羽沢小学校5年生66名を高尾山日影沢キャンプ場に迎えて森林教室を実施しました。

午前中は森林観察です。スギやヒノキの葉っぱに触れて違いを確認したり、人工林と天然林の違い、針葉樹と広葉樹の生長の仕方の違いなどについて学習したり、カヤの葉っぱやレモンエゴマの匂いに驚いたり、水が滴り落ちる林内で、緑のダムとしての森林の機能についての説明に聞き入っていました。また、小川で沢蟹を探したりオオバコの茎で勝ち抜き合戦に興じたりと、浜っ子が普段体験できないような楽しい森林観察となりました。

午後は、森林学習と丸太切りです。2グループに分かれて交互に実施しました。森林学習は、管理棟の中で森林の役割や持続可能な資源である木材を生産する林業について学びました。丸太切りは、キャンプ場の広場でスタッフの指導を受けながら、みんな真剣に一生懸命切っていました。切り落とした瞬間、みんな「やった〜」と言わんばかりの弾けるような満面の笑みを浮かべ満足そうでした。

木々の葉も一段と色付き秋の気配が段々と深まる高尾の山に、浜っ子の歓声がこだまする楽しい一日となりました。（瀬）



つるかごあみ

森の素材を使ってかごを編もう！

実は！林業にとって、ツルは木の成長をじゃまをするやっかいもの！！

でも、そんなツルも立派な「森からのおくりもの」です。森林の手入れをした後にツルを集めました。

この大切な「森からのおくりもの」を余すことなく使いおしゃれなカゴを編もう！

光が当た
らなくて
つらいよ



作成例

2023

12/2(土)

高尾森林ふれあい推進

センタークラフト室・展示室

10:00～15:00

応募は11月20日(月)まで

応募はこちらのサイトから



公式ホームページ
主催イベント
詳細情報→



編集後記

最近朝晩だいぶ肌寒くなってきました。

山の木々は実をつけ野鳥が我先にと啄ばみ、高尾の峰々は段々と色付き始めています。

秋ですネ～



ヒヨドリジョウゴ

Forest通信 NO.417

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 042-663-6689

E-mail: ks_takao_postmaster@maff.go.jp

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

